

授業科目(ナンバリング)	IR論 (CB222) (実践的教育科目)			担当教員	早坂昌彦 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	2年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
<p>IRとは、「カジノを含む統合型リゾート (Integrated Resort)」の略であり、国の法律に基づき、長崎県が佐世保市と協議の上誘致主体となり、本学の近隣であるハウステンボスの敷地でIR施設を整備できるよう、国から認定(全国で3箇所が上限)を受けるべく、積極的な準備が行われている。</p> <p>この講義の前半では、まずIRとは何か正しく理解したうえで、それが日本・長崎に整備されれば、佐世保市および周辺地域にどのような経済効果をもたらし得るのかについて理解する。次に、IRとはいわば巨大観光施設であり、その中にはホテル、MICE施設、アトラクション施設等が含まれるのであるから、本学の学生が将来IRに仕事として関わる可能性がある。よって、この講義で、長崎にIRが整備された場合に生まれる仕事を紹介する</p> <p>講義の後半では、IR施設についてもう一段深く学ぶ。そのためには、ギャンブル・カジノがどのようなもので、どのような本質を持つ娯楽であるのかについて、正しく理解することが必須である。その上で、新規に整備されるIR施設に関し、事業者は、どのように海外等からお客を連れてくるのか、どうやって巨額の投資を回収するのか、また、それに関連してハウステンボスを中心とする交通インフラはどう変わるのかについて学ぶ。また、IRの整備が周辺地域にもたらし得る懸念事項とその対策についても考える。</p> <p>以上のような進め方により、履修者がIRに関する最低限の専門知識を身に付け、またIR施設が整備されることに伴う様々な効果・影響について、自分なりに情報収集・分析できるようになることが、本講義の狙いである。</p>							②③④⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	IRとは何か、長崎にIRが整備されるとはどういうことなのかについて、最低限の専門知識とともに、理解することができる。				・小テスト ・課題レポート(1回目)	30% 30%	
情報収集、分析力	講義の中で提起された課題に関し、情報収集・分析を行ったうえで、自分なりの意見をまとめることができる。				・課題レポート(2回目)	40%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>毎回の講義において、内容の理解の確認・定着のため、ポートフォリオを活用して小テストを行い、その結果に基づき30%の評価を行う。また、講義で学んだ知識を踏まえ自分事として考えをまとめ、その考えを他者に説明できるようにするために、8回目(予定)の講義および13回目(予定)の講義において、計2回の課題レポートを課し、その内容に基づき70%(30%+40%)の評価を行う。課題レポートのフィードバックは適宜ポートフォリオや講義時に行う。</p>							
授業の概要							
<p>この講義の前半では、IRとは何か、長崎にIRが整備されるとはどういうことなのかについて、自分事として理解してもらい、後半では、観光マネジメントの観点からIR施設の運営等についてもう一段深く学んだ上で、履修者が情報を収集・分析のうえ、提起された課題に関し自分なりの意見をまとめられるようになることを目指す。なお、一部の講義で、長崎県庁、佐世保市など外部からのゲスト講師の登壇を予定している。</p> <p>定期試験は行わないが、毎回行う小テストと、2回課すレポートで全ての評価を行うので、講義期間を通じて積極的・主体的な参加が求められる厳しい講義となる。よって、そのような覚悟のない学生は履修しないでいただきたい。</p> <p>なお、この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に定めない。毎回の講義時にプリントを配布する。</p> <p>参考書：木曾崇『『夜遊び』の経済学 ～世界が目にする『ナイトタイムエコノミー』』光文社新書</p> <p>指定図書：特になし。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>毎回の講義で学んだことを踏まえ、小テストおよび課題レポートを課すので、講義の復習は必ず行うこと。また、私語など他の受講者に迷惑をかける講義は厳禁とし、そのような行為が特定された場合、その学生の評価に加味する。特に、外部からゲスト講師が来た場合は、感謝の気持ちをもって、より静粛に、集中して授業を聴いてもらいたい。なお、この講義は、1年次後期に設定されている「テーマパーク論」および2年時前期に設定されている「観光事業論」も併せて受講することにより、相乗的な学習効果を見込んでいる(ただし受講は必須ではない)。また、後期に開講する「Integrated Resorts of Japan」(English)については、本講義と内容が大部分において重複するが、ゲスト講師が異なるなど、両方受講しても意味がある講義とする。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション／授業の進め方	講義の全体と流れと受講するにあたっての留意事項等のガイダンスを受ける。	予習：シラバスを読んでくる。
2	「長崎 IR」とは何か？～友達に1分で説明できるようにしよう！～	「IR」とは何か、「長崎 IR」とは何かについて、正しく理解する。	1回目の配布資料を再度読んでおく、2回目の資料の復習
3	世界における IR の歴史と日本の IR に期待されていること	ラスベガス、マカオ、シンガポールなど世界における IR の歴史を学んだ上で、日本の IR に期待されていることを理解する。	2回目の配布資料を再度読んでおく、3回目の資料の復習
4	長崎 IR が佐世保市および周辺地域にもたらす経済効果	長崎 IR が佐世保市および周辺地域にどのような経済効果をどの程度の期間に渡ってもたらすのかについて、理解する。	3回目の配布資料を再度読んでおく、4回目の資料の復習
5	長崎 IR の意義と法制度	長崎県が IR の誘致を積極的に進めている理由と、その検討・準備はどのような法制度の下で進められているのかについて理解する。	4回目の配布資料を再度読んでおく、5回目の資料の復習
6	各観光事業と IR との関係 ～IR はホテルであり MICE 施設でありテーマパークだ！～	ホテル、MICE 施設等の IR を構成する各施設・事業について、正しく理解する。	5回目の配布資料を再度読んでおく、6回目の資料の復習
7	長崎 IR がもたらす仕事～900 種類の仕事を紹介します～	IR が新たにもたらす様々な職種・仕事について学ぶ。	6回目の配布資料を再度読んでおく、7回目の資料の復習
8	皆さんなら長崎 IR にどうかかわるか考えてみよう	前半の講義を踏まえ、長崎 IR に関わるとしたらどのような関わり方があり得るのか、考え方を学ぶ。	7回目の配布資料を再度読んでおく、8回目の資料の復習
9	「ギャンブル/カジノ」とは何か ～カジノを理解するための確率論入門～	基礎的な確率論を踏まえ、ギャンブルおよびカジノとはどのような娯楽なのかについて理解する。	8回目の配布資料を再度読んでおく、9回目の資料の復習
10	世界におけるカジノの歴史と今 ～ヨーロッパ、ラスベガス、マカオ、シンガポール～	世界においてカジノがどのように始まり、どのように変化していったのかについて学ぶ。	9回目の配布資料を再度読んでおく、10 回目の資料の復習
11	どうやって海外からお客様を連れてくるのか ～IR のマーケティングを学ぼう～	IR 事業者がどのような方法で海外からお客様を連れてきて、どのようなサービスを提供するのかを学ぶ。	10 回目の配布資料を再度読んでおく、11 回目の資料の復習
12	どうやって投資を回収するのか ～IR のビジネスモデルを学ぼう～	IR のビジネスモデルはどうなっているか、IR 事業者はどのようにして巨額の投資を回収するのかについて学ぶ。	11 回目の配布資料を再度読んでおく、12 回目の資料の復習
13	長崎 IR と交通インフラ～IR により飛行機、鉄道、道路、船での移動がどう進化するか～	長崎県が IR の誘致に成功した場合、ハウステンボスを中心とする各交通インフラはどのように進化する可能性があるかについて学ぶ。	12 回目の配布資料を再度読んでおく、13 回目の資料の復習
14	長崎 IR の整備に伴う懸念事項とその対策	長崎に IR 施設ができることによって周辺地域にもたらし得る懸念事項とその対策について学ぶ。	13 回目の配布資料を再度読んでおく、14 回目の資料の復習
15	まとめ ～今後の学びに関するガイダンス～	全ての講義のおさらいと、興味を持った分野に関し今後より深く学んでいくためのガイダンスを受ける。	14 回目の配布資料を再度読んでおく、15 回目の資料の復習